

第135回

岩手朝日テレビ放送番組審議会

議 事 録

(平成22年2月)

2010.2.25

株式会社 岩手朝日テレビ

第135回 放送番組審議会議事録

1. 開催日時 平成 22年 2月 25日 (水) 午前 11時～
2. 開催場所 IAT本社 3階 会議室
3. 委員の出席

委員総数 7名

出席委員数 7名

委員 長	増 子 義 孝
委員	小田島 利 昭
委員	笠 川 さゆり
委員	そのだ つくし
委員	弭 間 俊 則
委員	吉 田 政 司
委員	村 田 久

会社側出席者名

代表取締役社長	富 永 健 治
常務取締役	辻 一 成
編成業務局長兼放送番組審議会事務局長	小 林 直 紀
報道制作部局長	佐々木 貴
報道制作部部長	鈴 木 敦
番組審議会事務局	佐 藤 清 一

4. 議 題

- (1) 番組合評
「東北ふるさとCMフェスティバル」
- (2) 3月単発番組について
- (3) 次回審議会
開 催 日：平成22年3月25日(木)11時～
 本社 3階会議室
合評課題：「ひろみちおにいさんのいわてGO!GO!子育て応援宣言」
放送日時：平成22年3月1日(月)午後7時～7時54分

5. 概 要

- 富永社長からデジタルテレビの売上台数が冬季オリンピックの影響をあり売上を前年12月比169.8%と伸びている状況報告。
- 小林事務局長から2月の視聴率と3月の単発番組の説明がされた。
- ふるさとCMフェスティバルをみて、各県工夫して作っている素晴らしいものがある。
- 番組構成については、まとまりがなくバラバラな印象をうけた。
- 中身が統一されていない感じで、一時間集中して見ることは困難。
- 司会者のアップテンポな流れに出演者の東北人がついていけない面がある。
- ユニークなゲストと司会者のやりとりで笑いを誘う場面が多かったが、少しふざけ過ぎたきらいがある。
- CM大賞とはこんなものであるとの説明が少し必要である。

6. 議事の内容

小林事務局長 それでは、只今より、第 135 回岩手朝日テレビ放送番組審議会を始めます。

 それでは、増子委員長、議事をお願いいたします。

増子委員長 それでは富永社長、一言お願いします。

富永社長 本日もお忙しい中、お集まり頂きましてありがとうございます。

 先月のデジタルテレビ売り上げ台数が、239 万 2000 台と前年比 169.8%で、かなりの台数を増やしております。昨年 12 月のブルーレイ・ケーブルテレビ売上累計台数が、6673 万 5 千台バンクーバーオリンピックの影響で 1 月は更に売上を伸ばしています。また 6 月から開催するワールドカップにより更に売上を順調に伸ばしています。

 デジタル放送で見ている人が半数以上で視聴する機会が増え、放送するジャンルも増えています。その中の 12.6%が地上デジタル放送になってから、リビングで見る、家族みんなで見える機会が増えたというように、テレビが家族の中心に戻ってきたようです。今後さらに家族で一家団欒見られるような番組を増やしていきたいと思っております。

増子委員長 ありがとうございます。デジタル化にあたり、広告費はどうですか。

富永社長 そうですね。デジタル放送になった場合、一家に一台の今、全体の視聴率は下がってくるのではないのでしょうか。視聴率が下がりますと、当然CMも少なくなります。しかし、現在CMがまだアナログ対応のものが多く、デジタル化へ向けてCMも 16:9 でCMをまた作り直さなければなりません。またそこでコストがかかります。

増子委員長 インパクトの高いCMを要求されそうですね。

小林事務局長 生鮮品や洋服といったものは、鮮やかに映し出すような要求があると思います。

村田副委員長 「アバダー」のような立体的なCMも作れるのですか。

富永社長

3Dテレビが今後発売されるようですし、イギリスはワールドカップを3Dで放送するような話を聞いています。また、ケーブルテレビの一部では3Dの放送が始まっているようですので、今後はCMも立体的なものも増えると思います。

増子委員長

そうなのですね。ほかに何かございませんか。
では3月の単発番組と視聴率についてお願いします。

小林事務局長

3月は第3週、4週に特番が入っております。3月1日19時から19時54分までIAT自社制作番組「ひろみちおにいさんいわてGO!GO!子育て応援宣言!!」を放送いたします。3月6日土曜ワイド劇場の枠に、特別番組が入り、ドラマスペシャル「やまない雨はない」の放送を致します。7日は、長崎文化放送さんの制作番組で、開局20周年記念特別番組カラダよろこぶ究極のエコグルメ!の放送があります。是非ご覧下さい。

視聴率についてご報告申し上げます。2月1週、2週の全日視聴率が8.3%ゴールデンプライム苦しいながらも8.3%でありました。ワイドスクランブルも司会者が変わって、徐々に数字を伸ばしてきています。「相棒」は、16.4%、19.2%とこちらも数字が上がってきています。

増子委員長

ありがとうございました。ご質問等ございませんか？
では合評課題にうつります。

小田島委員

ふるさとCMフェスティバルを見て、各県工夫して作っている、素晴らしいと思いました。番組としては、「いまいち」かな？と思いました。CMの目線から見れば町の紹介、そのような先入観から見てしまいました。市町村の紹介番組のようで、中でも宮城県のは、見ていて行ってみたいと思うほどでした。

番組の構成についてですが、なんとなくバラバラな印象を受けました。司会者の渡辺さん、審査員もバラエティの路線で構成しているのか、まとまりがない感じでした。山形県のCMは町の紹介なのかな。良く意味がわかりませんでした。岩手県のCMも、中身が統一されていない感じで、一時間集中して見ることが出来ませんでした。

笠川委員

全体的な基準というものが番組にはなかったと思いますが、各県工夫を凝らして作成していましたね。

見ていて、けしてプロが作っているのではなく、素人が制作したもの、またプロが作成しているものを同じように比較して評価されるのはいかなもののでしょうか。フェスティバルというお祭りの考えの番組なら、これでも良いのですかね。

東北6県で競い合うというのにとても違和感がありました。各県、ロケ地の紹介だったり、観光的だったり、番組自体、見ていてもまとまりがなく、印象が残りませんでした。1番印象に残ったのは、CMではなく、司会者の渡辺さんやルー大柴さんが素人相手に一生懸命盛り上げようとしていたところが良かったことです。

全体的にまとまりが無かったのは残念ですね。

そのだ委員

今回初めてCMフェスティバルを見ましたが、お祭りのな番組なら、バラエティのような作り方、「ひるまにあん」、みたいな番組の構成がよかったのではないのでしょうか。欽どんみたいなセットの方が面白いと思います。

司会者の渡辺さん、またルー大柴さんのようなアップテンポな流れに東北人がついていけませんでしたね。

CMフェスティバルの紹介の順番はどうやって決めているのですか。あとでお聞かせください。

弭間委員

私も今回初めて見させていただきました。岩手のCM大賞の東北版と考えると良いのでしょうか。

今回は6県でCMだけではなく、ご当地を紹介する企画の方がよいのではないのでしょうか。30秒という短い時間の中で地域情報を紹介するのは難しいと思います。最初に解説があつてそれから放送していたので理解は出来ましたが、途中から見ている人はわからないと思います。

各地域で、インパクトのあるところを出せば、地域紹介にはよい仕掛けかもしれませんね。

村田副委員長

お祭りという視点からならCM6本各県1本の紹介なので番組は時間的に余裕の中での番組制作のせい、東北6県の特徴がそれぞれ良く出ていたと思います。

映像も素晴らしく、内容の濃い番組で楽しく見ていました。特に福島県の鏡石町の農業への取り組みと人々の熱意

がよく伝わってきました。宮城県の大崎町の野鳥の映像、圧倒的な自然の美しさ、秋田県「にかほ市市」の素朴で珍しい魚の鱈を奉納する「掛魚まつり」は印象が強く残っています。

「ロケ地をたずねて」はCMの内容をより深く、またわかりやすく説明がされ見応えがありました。また東北のよさが伝わりました。特産品の紹介や観光的案内等もあり、行ってみたい。という思いにさせられましたね。まだまだ東北にはあまり知られていない隠れた穴場があるのですね。

ユニークなゲストさんと司会者の渡辺さんのやりとりで笑いを誘う場面が多かったのですが少しふざけ過ぎた部分もあったように思います。ゲストは要らないのかもしれませんが。

各県に賞が与えられるのは良い事ですが、最優秀賞のようなものを一つ選んでも良いのではないのでしょうか。全体的に、フェスティバルという感覚なら、観光的CMなら良いのかな。と思いました。

吉田委員

今回3回目の放送との事で、番組自体の場面の見易さが工夫されていたと思います。しかし、何か物足りなさがあり、最後まで見ていて、もやもや感が残りました。

オープニングから表彰があり、エンディングで締めくくる。東北6県のCMの紹介でしたが、AからFまでではなく、Aが6個並んでいる様な感じで、メリハリが無いと思いました。

構成についてですが、前半と後半に分けて流れをつけるのはどうでしょうか。そのまま1時間放送して、視聴者の興味をこちらに向けるには構成をもう少し考えてみては如何でしょうか。

タイトルにふるさとCMと銘打っているのですが、30秒のCMを6個ただ流している感じに思いました。

司会者やゲストの印象が強すぎて、CM自体の印象が薄れてしまっていました。CMそのものの強調性とそれ以外のもののお話や情報などは別に考えた構成だともっと番組が引き立つのではないのでしょうか。

増子委員長

岩手県のCMは見ていますが、それ以外の県のCMはどのようなものかと思いながら見ていました。葛巻町のCMも良かったのですが、それ以外の県内のCMも良くできていたと思います。CM大賞という番組だから理解も出来る作品もあったと思います。わからない人が見たら理解できない作品も中にはあったかと思えますね。

CM大賞とはこういうものですよ。という説明をもう少し

詳しく説明する方が視聴者には親切だと思います。なかにはちんぷんかんぷんでわからない人もいると思います。

各県まとめて見たから面白かったのかもしれませんが。

鈴木報道副部長 皆さんから貴重なご意見をありがとうございました。今後制作するにあたり、意見をご報告させていただきたいと思います。

VTRについては、各県の東北各局が制作をいたしました。取りまとめは、仙台で行いました。ディレクターについては複数でディレクションをして制作をいたしました。先生からご意見がありましたCMについての説明を事前に詳しくしたほうが親切だったと反省材料に活かしたいと思います。

小林事務局長 貴重なご意見をありがとうございました。

元々KHBさんからの提案で東北6県のCMフェスティバルということでスタートした番組ですが、最初はコンテストでしたが、それでいいのか。という疑問があり、他県では、どのようなCMが賞を取っているのか、それをまとめて東北6県で賞を取ったものを放送しようということでスタートした番組でございます。

コンテストではなく、ざっくばらんなバラエティ番組とした位置づけで、見ている視聴者に楽しんでもらえるような番組にしたかったのが本音です。

辛いところは、吉田委員から意見が出ました、Aが6個並んでしまう状況、これが難問です。CMが作られた背景、何故このような内容でCMを制作したのか。このような事前の説明がもう少し詳しくしていれば見方も考え方も変わったのかも知れません。東北6県でまとめたCMにひとつのキーワードをもたらし、協調性をかけた作り方で方向性を固めていけばもっと良い番組になっていたと思います。今後の制作に十分検討したいと思います。

また、CMの出す順番ですが、ディレクターがどのような順番が良いのかを検討して決めております。

増子委員長 ありがとうございました。何かほかにございませんか。

村田副委員長 CMを見ていても、記憶が薄れてきてしまうのですよね。

そのCMの背景や演出など、もう少し工夫があればいいと思いますね。

小林事務局長 東北6県均等になるように制作しているのですが、各県同じテーマではなくまとまりがなく感じてしまうのかもしれませんが。いろいろな意味で、まだまだ改善の余地があります。

増子委員長 ほかに何かございませんか。それでは次回にいついてお願い致します。

小林事務局長 では次回についてですが、ひろみちおにいさんの「いわてGO!GO!子育て宣言」を合評課題にしております。是非ご覧になって貴重なご意見をお願いいたします。

増子委員長 それでは終了します。ありがとうございました。

7. 審議機関の答申または改善意見に対してとった措置

ご指摘頂いた点を、今後の番組作りの参考とすることとした。

8. 審議機関の答申または意見の概要の公表

3月2日(火)朝日新聞岩手県版に審議概要を掲載。

系列各局に議事録を送付。

本社受付に議事録を常備、閲覧に供す。

インターネットホームページに掲載。

9. その他の参考事項

特になし

10. 配布資料

◎ 3月単発番組編成予定表

◎2月岩手地区視聴率